

1 背景とねらい

耐胴枯病性の桑品種「ゆきしのぎ」の栽植が増加して、東北地域の養蚕経営安定に寄与しているが、他地域に比較すると繭量、生糸量等の繭糸値が劣る傾向がみられるところから、ゆきしのぎの飼料価値と効率的利用法について検討した。

2 技術内容

- (1) ゆきしのぎは改良戻返に比べ、食下率・消化率とも劣り、食下量に対する繭層重割合も約15%低い。
- (2) ゆきしのぎを用い、改良戻返と同水準以上の繭収量、繭値を得るには、5齢4日目以降の給桑量を現行標準量より20%増量する。この場合の5齢給与量は標準量の15%増しとなる。
- (3) 10a当たりの収繭量は、5齢4日目以降20%増量で給与した場合、標準量給与に比べ4~8%減少するが、繭糸値の向上により10a当たりの販売価額では差が認められない。
- (4) 現地農家におけるゆきしのぎと改良戻返の桑生産量から、10a当たりの繭生産量を試算すると、ゆきしのぎは改良戻返に比べ11~42%増収する。
- (5) ゆきしのぎを給与する場合の標準表を作成した。
- (6) 適産地域 ゆきしのぎ栽植地域

3 指導上の留意事項

- (1) ゆきしのぎの給桑量は標準表に準拠するが、新梢・葉量割合を調査し、給桑量を補正する。
- (2) 効率的な食下および消化を図るため、標準の環境維持に努める。
- (3) 東北部では秋冷が早いので、ゆきしのぎは桑葉の硬化やうどん粉病等により葉質が劣化しやすいので、春切桑は晩秋産期までに収穫し、晩々秋産期以降は夏切桑給与とする。

4 参考文献・資料

- (1) 阿部信治(1983) : 東北蚕糸研究報告, 8号
- (2) 大津祐朗 他2名(1985) : 東北蚕糸研究報告, 10号
- (3) 河端常信(1982) : 岩手蚕試季報, 7号
- (4) 橋元 進(1979) : 東北蚕糸研究報告, 4号

5 試験成績

表-1 「ゆきしのぎ」・「改良戻返」の食下量・消化量調査(対100頭・乾物)(1986年)

蚕 期	桑 品 種	給 桑 量	食 下 量	消 化 量	食 下 率	消 化 率
春 蚕	ゆきしのぎ	1,076.1 ^g	730.6 ^g	386.0 ^g	67.9% (92)	52.8% (97)
	改良戻返	944.0	697.5	379.4	73.9 (100)	54.4 (100)
初 秋 蚕	ゆきしのぎ	723.2	454.0	144.2	62.8 (91)	31.8 (94)
	改良戻返	657.3	455.0	153.8	69.2 (100)	33.8 (100)
晩 秋 蚕	ゆきしのぎ	964.7	502.9	176.5	52.1 (96)	35.1 (98)
	改良戻返	959.8	520.6	187.3	54.2 (100)	36.0 (100)

表-2 食下量・消化量に対する繭層重割合

(1986年)

蚕期	桑品種	繭重	繭層重	繭層歩合	食下量に対する繭層重割合	消化量に対する繭層重割合
春蚕	ゆきしのぎ	2.18 ^g	55.2 ^{cg}	25.3%	7.6%(95)	14.3%(97)
	改良鼠返	2.36	55.6	23.5	8.0(100)	14.7(100)
初秋蚕	ゆきしのぎ	2.12	48.8	23.0	10.7(96)	33.8(102)
	改良鼠返	2.18	50.9	23.4	11.2(100)	33.1(100)
晩秋蚕	ゆきしのぎ	2.08	51.0	24.6	10.1(95)	28.9(98)
	改良鼠返	2.41	55.2	22.9	10.6(100)	29.5(100)

表-3 「ゆきしのぎ」・「改良鼠返」桑給与の飼育成績

(1986年)

蚕期	桑品種	試験区	経過日数	5齡起蚕1万頭当たり		現地桑園10a当たり	
				給桑量	収繭量	新梢量・葉量	収繭量
春蚕	ゆきしのぎ	標準	8.15 ^{H時}	324.5 ^{kg} (100)	16.9 ^{kg} (99)	1,492(147)	77.9 ^{kg} (148)
		+20%	8.2	349.5(108)	17.6(104)		74.6(142)
	改良鼠返	標準	8.14	325.0(100)	17.0(100)	1,012(100)	52.6(100)
初秋蚕	ゆきしのぎ	標準	7.0	216.0(93)	14.4(88)	1,353(133)	89.4(125)
		+20%	7.0	250.0(107)	15.4(94)		82.4(115)
	改良鼠返	標準	7.0	233.0(100)	16.3(100)	1,021(100)	71.5(100)
晩秋蚕	ゆきしのぎ	標準	8.16	192.0(96)	15.0(97)	1,385(118)	108.0(118)
		+20%	8.15	219.5(110)	16.1(104)		101.8(111)
	改良鼠返	標準	8.14	199.0(100)	15.5(100)	1,175(100)	91.7(100)

表-4 「ゆきしのぎ」・「改良鼠返」の繭質および繰糸成績

(1986年)

蚕期	桑品種	試験区	繭重	繭層重	繭層歩合	生糸量歩合	解じょ率	繭格	繭単価
春蚕	ゆきしのぎ	標準	1.86 ^g (101)	42.4	23.1 ^{cg}	19.18(100)	92%	優 ^等	1,933(100)
		+20%	1.99(108)	46.5	22.9	19.73(103)	92	優	1,988(103)
	改良鼠返	標準	1.84(100)	42.7	23.3				
初秋蚕	ゆきしのぎ	標準	1.59(89)	37.0	23.2	18.25(100)	59	3	1,753(100)
		+20%	1.67(94)	40.7	24.4	18.58(102)	63	2	1,809(103)
	改良鼠返	標準	1.78(100)	41.7	23.2				
晩秋蚕	ゆきしのぎ	標準	1.63(95)	40.1	23.5	19.05(100)	85	1	1,879(100)
		+20%	1.79(105)	40.4	23.7	19.61(103)	88	1	1,934(103)
	改良鼠返	標準	1.71(100)	40.3	23.2				